



- ▶ はじめに 2
- ▶ 事業の経営 3
- ▶ 水道水が届くまで 4
- ▶ 給水区域と水道施設 5
- ▶ 浄水場 7
- ▶ 配水施設 8
- ▶ 水質管理 9
- ▶ 水運用のしくみ 11
- ▶ 災害対策 13
- ▶ 環境保全 15
- ▶ 給水装置 17
- ▶ 水道料金 18
- ▶ お客さまサービス 19
- ▶ データで見る仙台の水道 21
- ▶ 各種お問い合わせ 22



仙台市水道局 キャラクター
「ウォッターくん」

プロフィール

誕生日	8月6日(しし座)
出身地	水の惑星 地球(青下水源地)
からだの成分	酸素、水素
能力	水蒸気、水、氷へと自由自在に変身できる

仙台市水道のあゆみ

1889(明治22年)	市制施行、仙台市誕生
1893(明治26年)	イギリス人技師 W.K.バルトン氏来仙
1913(大正 2年)	上水道の創設工事に着手(中原浄水場建設など)
1923(大正12年)	仙台市水道給水開始
1931(昭和 6年)	第1次拡張事業開始(青下ダム建設など)
1948(昭和23年)	第2次拡張事業開始(富田浄水場建設など)
1958(昭和33年)	第3次拡張事業開始(国見浄水場建設など)
1966(昭和41年)	第4次拡張事業開始(茂庭浄水場建設など)
1978(昭和53年)	第5次拡張事業開始 (宮城県仙南・仙塩広域水道からの受水関連施設の整備など) 宮城県沖地震発生 (震災を教訓に老朽管の更新を促進)
1989(平成 元年)	政令指定都市となる
1990(平成 2年)	宮城県仙南・仙塩広域水道から受水開始
2000(平成12年)	第5次拡張事業完了
2011(平成23年)	東日本大震災が発生し、最大で約23万戸が断水
2023(令和 5年)	給水開始100周年

仙台市の水道は、大正2年12月、大倉川を水源とした創設工事に着手し、大正12年3月に給水を開始しました。その後、市勢の伸展や給水区域の拡大、市民生活の向上に伴う水需要の増加に対応するため、5次にわたる拡張事業や配水管整備事業を行い、水源の確保と供給体制の拡充を図ってきました。

近年においては、人口減少に伴う水需要の減少が見込まれるほか、老朽化した管路や施設が更新時期を迎えるなど、様々な課題に対応しながら経営基盤の強化を図っていくことが求められています。

また、令和5年3月には「給水開始100周年」という大きな節目を迎えました。

仙台市水道局では、市民生活・社会活動を支えるライフライン事業者として、これから50年・100年先の未来においても、お客さまに安全で良質な水道水を安定的にお届けできるよう、より効率的な事業運営に努め、持続可能な経営の実現に向けて取り組んでまいります。

～W.K.バルトン～



水道の創設にあたり、西洋の先進技術を取り入れるため、イギリス人技師W.K.バルトン氏に設計を依頼しました。明治26年にバルトン氏は市内を現地調査し、この結果が仙台の上下水道の基礎となりました。



青下第二ダム建設の様子 (第1次拡張事業)



安養寺の送水管敷設現場 (第3次拡張事業)



茂庭浄水場本館建設の様子 (第4次拡張事業)